東稲ニュース

第 107 号　　早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和元年　　７月１０日発行
発行責任者　高橋 哲男
編集責任者　小山田朋樹

E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局　大矢 真弘　℡042-475-8532

会の告知板

【部会予定】

7 月 30 日(火)	カラオケ部会「カラオケを楽しむ会」	18:30　オンチッチ
8 月　4 日(日)	第 2 回役員会	16:00　中央町地区ｾﾝﾀｰ
8 月 19 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き部会臨時開催「清瀬ひまわりﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ」	＜詳細未定＞
9 月　9 日(月)	ｳｫｰｷﾝｸﾞ＆山歩き第 74 回「羽村堰から玉川上水を歩く」	＜詳細未定＞
9 月 26 日(木)	第 65 回映画鑑賞会『冒険者たち』	14:00　成美教育文化会館
10 月 13 日(日)	秋の懇親会	＜成美教育文化会館＞

【大学・校友会関係】

8 月 18 日(日)	校友会三多摩支部会長会	15:00　青梅市福祉ｾﾝﾀｰ
9 月 28 日(土)	校友会秋季代議員会	16:00　大隈講堂
10 月　2 日(水)	稲門祭実行委員会	18:30　井深記念講堂
10 月 12 日(土)	小平稲門会総会	11:00　ルネ小平
10 月 20 日(日)	稲門祭　ホームカミングデー	＜早稲田大学＞
11 月 10 日(日)	校友会三多摩支部大会	14:00　青梅市福祉ｾﾝﾀｰ

＜各部会定例活動一覧＞

部 会	7 月				8 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性ｻｰｸﾙ	18	木	10:00~	中央町地区ｾﾝﾀｰ	― 夏 休 み ―			
書 道	14	日	13:00~	スペース 105	11	日	13:00~	生涯学習センター
俳 句	21	日	13:00~	生涯学習センター	18	日	13:00~	
囲 碁	28	日	13:00~	成美教育文化会館	25	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	6	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	3	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	17	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	27	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	24	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ	毎週金		10:50~	東久留米ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ

会の報告

◎役員会報告　2019 年度第 1 回役員会が 6 月 2 日(日)16 時より、生涯学習センターにて開催された。

＜議事録概要＞

高橋会長より、総会等のお礼が述べられた後、以下のような報告等があった。

1.大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

（1）三田会総会	4/20（土）	成美教育会館	高橋・山岡
（2）清瀬稲門会	6/16（日）	清瀬ｱﾐｭｰﾎｰﾙ	小野・山口
（3）西東京稲門会	6/16（日）	東伏見ｷｬﾝﾊﾟｽ	高橋・河村
（4）早大商議員会	7/6　（土）	早稲田アリーナ	高橋・安次峰

（5）三多摩会長会	8/18（日）	青梅市福祉ｾﾝﾀｰ	高橋・大矢
（6）早大代議員会	9/28（土）	大隈講堂	山口・小山田
（7）稲門祭実行委員会	10/2（水）	井深ホール	中村・吉田
（8）小平稲門会	10/12（土）	ルネ小平	未定
（9）三多摩支部大会	11/10（日）	青梅市福祉ｾﾝﾀｰ	高橋・村野・小山田　他
(10) 東村山稲門会	11 月下旬	ｻﾝﾊﾟﾙﾈ･ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ	

２．第 25 回総会の反省等

（１）反省：配付資料に総会資料が入っていないものがあり、また、マイクの音が小さくて聞こえなかったとの意見があり、この反省を生かし、次回改善することとなった。

（２）次年度文化講演会：候補者が 2 名上がったが、早大校友で女性冒険家の高野孝子氏を第一候補として打診することとなった。

３．2019 年度会員の状況

（１）6 月 1 日現在の会費納入、未納者状況：　・納付者：120 名
＜予算の 155 名まで 35 名＞

（２）未納会員への督促について：　・5/15 現在で督促状送付済

（３）その他、会計からの報告

・大学の商議員会出席者への交通費支給の件

・総会支出金　53,860 円　＜予算　80,000 円ゆえ、26,140 円余剰＞

４．本年度の行事予定、担当者

（１）役員会：8/4(日)・10/6(日)・12/1(日)・2/2(日)・4/5(日)

（２）秋の旨いもの会の日程：10/13(日)か 10/19(土)の午後の実施とし、名称を「秋の懇親会」に変更。なお、会場は成美教育会館を確認する。招待者：20 代～40 代の校友会費納入者。

（３）忘年会の日程：12/1(日)　会場未定

（４）新年会の日程：練馬稲門会のニューイヤーコンサートの日程を確認後、決定するが、1/18(土)又は 1/25(土)の予定とする。

（５）次年度総会：2020 年 4 月 18 日(土)　成美教育文化会館(予約済)

５．2019 年度会員名簿印刷等について

（１）会員氏名等の確認

（２）各部会の部会長の確認：女性部会とバドミントン部会の部会長が変更となった。

（３）名簿の卒業年を西暦へ変更するかどうか検討する。

６．広報関係

（１）東稲ニュース：　・記事等の依頼

・印刷日時等・・・7 月 10 日(水)17：30 から生涯学習センター印刷室にて実施

７．稲門祭記念品の販売状況等

・目標金額 14 万円のところ、186,000 円の販売額達成(6/１現在)

・景品の寄付・・・柳久保かりんとう 2 万円分(昨年：うどん、一昨年：焼酎)

８．その他の検討課題

（１）ホームページ：これまでの「東稲ニュース」や「杜の西北」を閲覧できるよう準備中である。

（２）映画鑑賞会：・5 月 30 日(木)14 時　「汚れなき悪戯」　・9 月 26 日(木)14 時　「冒険者たち」
今後、運営委員会で上映作品等の検討をする。

（３）退会希望の高齢会員等への配慮の件：後日、再検討とする。

＊次回役員会：8 月 4 日(日)16 時　中央町地区センター　第４会議室　　以 上

山口 謙二 記

◎清瀬稲門会第 22 回定時総会、懇親会

6 月 16 日(日)13:30～16:40、清瀬アミュープラザにて清瀬稲門会第 22 回定期総会、懇親会が行われた。標記の総会に山口事務局次長と、小野が出席いたしました。

本会と西東京稲門会の総会が重なり、大学及び近隣稲門会にご迷惑をかけたお詫びから総会が始まった。清瀬稲門会も東久留米稲門会同様に会員の高齢化会員数の減少に伴い、各種事業の縮小が見られ、新入会員の増強策が大きな課題となっているとのことでした。会員数は 89 名、市在住の交友は 500 名程度とのこと。総会、懇親会とも出席者は招待者含め約 40 名弱、会員は約 30 名であった。

清瀬稲門会の活動で特筆すべきは昨年の活動報告や、今期の目標にも明らかな様に、「広く清瀬市民や近隣を対象とした文化活動を行う」が重点項目となっている。１)「オペラ鑑賞会」を主催、２)「清瀬市石田波郷俳句大会」の全面支援、３)市民を対象としたセミナー及び公開文化講演会を開催、４)「清瀬音楽鑑賞倶楽部」「清瀬第九合唱団」「清瀬管弦楽団」等の活動を支援、５)「清瀬の自然を守る会」との共催活動等を継続事業としている。この事は、地域稲門会の在り方の一つとして素晴らしい活動と感じた次第です。

小野 泰右 記

◎西東京稲門会第 19 回定時総会

令和元年 6 月 16 日(日)午後 1 時より、早稲田大学東伏見キャンパスにて西東京稲門会第 19 回定時総会が開催され、当会から河村幹事、高橋が出席した。

第一部は、マンドリンの演奏で 12 人の構成であるが、ギター、マンドリン担当の学生は、全日本学生大会 1.2 位実力者で全体のレベルも高かった。演奏時間 50 分、参加者は一般市民を含めて約 100 名、第二部の定時総会の顕著な報告事項は、会長から 4 年ぶりに会員募集を行い、個別訪問をしたところ 34 名の会員が入会したこと及び来年度は創立 20 周年になるので本年度より実行委員会を立ち上げること。また、ワセ女会のバザーの売上を稲門寺子屋西東京へ寄附を披露。約 1 時間、参加者 60 名、第三部の懇親会は、東伏見早稲田寮の学生が 7 名参加、来賓は、西東京市長を含め 23 名、総勢約 100 名で盛会であった。

早稲田大学の施設が活用でき早稲田の学生も身近であることは、非常に優位であると思うが、当会なりに運営を努めていきたい。

高橋 哲男 記

新役員の紹介

今年度の 4/21 の総会において、新たな役員体制がスタートしました。新任の役員 3 名の紹介です。

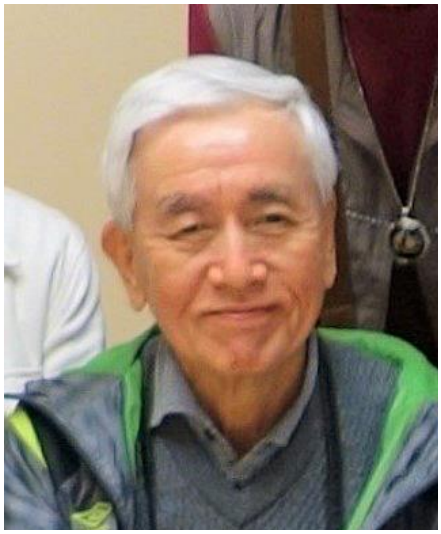
有賀 千歳 (2008 年　H20 年　大学院スポーツ科学修了)

出身は、長野県諏訪市、諏訪清陵高校から埼玉大学教育学部に進み、36 年間埼玉県で教員をやり、4 年間は志木市議会議員を務めました。早稲田との出会いは、40 歳後半を迎えたとき早稲田で大学院を開講する情報を得てからです。間野先生に指導を受け、スポーツ科学を学びました。私は、教員 5 年目から地域で子供たちを対象にバスケットボールを指導しており、本格的にスポーツ科学分野で学ぶことを模索していたのです。

東久留米稲門会に入らせていただき、バドミントン、太極拳、ウオーキングを中心に活動しております。この度、編集委員という責任ある仕事を頂き、責任の重さを感じております。どれだけのことができるか不安ですが、精一杯頑張ってみたいと思っております。よろしくお願いします。

坂井 淑晃（1969 年　S44 年　理工）

さかいよしあきです。生まれと育ちは高知県、家内の実家が氷川台にありましたので、次女が生まれて間もないころ新所沢から東久留米に引っ越してきました。もう 37 年も前になります。東京ではなく、いずれは故郷の近くにでもと思ったことがありましたが、下戸ですので、この選択肢は止むを得なかったかなあと納得しています。



東久留米稲門会の存在は、ポストへの投げ込みで知っていました。故郷の整理がほぼ終わり、二人目の孫が誕生したころになって、適当なボラ活動やサークルは無いものかと探し始めたところ、ホームページでいろんな部活が目にとまり、入会をお願いしました。以来、副会長さんや部会長さん、部員の皆さまに助けられ、ウォーキングやバドミントン、ゴルフなどに参加させていただいています。自転車や徒歩圏内の近所にこんな楽しい会があるとは。うまくすると、これは一生ものになるかも知れません。

未入会でお時間のある方、宴会も豊富にございますので、どうぞお気軽にご参加ください。

前川 初子　（2005 年　H17 年　文）

私は新潟県で生まれ、流れ流れて東京に着きました。花火で有名な長岡の隣りの小さな村。（現在は長岡市に合併）村の前には広い越後平野。

小学校のある風景。ある秋の午後、光が入っている図書室で、大きなへたな字で「なかむらはつこ」と書いてある図書カード。私のほかには 1 人だけ。この記憶は、私のその後を決定したようです。

中学生になり、青雲の志を立てました。「中学の国語の先生になって、1 人で生きていく」と。中学校で抜群の成績が取れ、元女学校だった有名女子高に入れました。それから、公立の女子短大の国語科に入り、中学校教諭の国語と家庭科の免許を取りました。

新潟県の教員採用試験で B 採用だったため、短大の先輩の紹介で、久留米町役場に入り、保母に。

星雲の志の 1 つ違ったことは、間違って結婚してしまったことです（笑）。

人生には 3 回のモテ期があるとの情報あり。第 1 期は 18 歳～20 歳（人）です。第 2 期は、43 歳で会社を作ったこと（仕事）。第 3 期は、去年からですね（仕事）。

部会報告

＜女性サークル＞

風薫る 5 月 23 日（木）、女性サークルは新宿区落合にあるアトリエ記念館を巡る散策とランチを楽しみました。最初に訪れたのは佐伯祐三アトリエ記念館。緑濃いお庭に映える水色のアトリエの中で、パリに憧れ、暮らし、30 歳の命を閉じた画家の生涯のビデオを鑑賞。

次は中村彝アトリエ記念館。卓越した才能でレンブラント、ルノワール、ゴッホの画風を会得するも、37 歳で逝った生涯のビデオを鑑賞。明治・大正時代に短い生涯を絵画に捧げた 2 人に想いをはせ

ながら住宅街を散策し、ビストロ Panier de legumes に到着。若い女性シェフのランチに舌鼓を打つと、話題はやはり“食べ物”。野菜の話に盛り上がり楽しいひと時でした。

その後、目白通りの商店街を抜け目白駅で解散となりました。好天に恵まれた街歩きでした。　　三浦 洋子 記

佐伯祐三アトリエ記念館にて

中村彝アトリエ記念館前

＜囲碁部会＞　6 月 1 日(土)　第 19 回オール早稲田囲碁祭に参加して

東京近郊の各地から総勢 145 名の参加者が市ヶ谷の日本棋院に集まりました。

まずは早稲田大学の近況、2019 関東学生囲碁春季リーグ戦において、男女ともに全勝優勝を果たしました。男女どちらも 2 位慶応　3 位東大と我らにとって嬉しいニュースでした。

オール早稲田囲碁祭　対局風景

さて今回の戦績ですが、初戦は船橋チーム。私の対戦が終わった時点で 2 勝 2 敗、最後は小池さんの腕に、、、、小池さん勝ちました。5 人総当たりなので 3 勝上げれば勝ち点が付きます。チーム戦は周りも力が入ります。第 2 戦は多摩チーム。この戦いは私が勝った時点で 3 勝 1 敗で、最後も勝って 4 勝 1 敗で勝ち点 2 となりました。最終戦の相手は厚木チーム。今回私は初めて副将として出場しており、どのチームも主将副将は強そうに見えて仕方がない。まあ相手も同じ条件だから取り敢えずは大きく構えていこうと。今度の相手も六段。強いに決まっています。序盤でしっかり地を稼ぎ中央の戦いでも 10 数目の石をとり優勢となった。そのまま着地。最終戦も 3 勝 2 敗で A クラスで全勝優勝できました。また全勝者は私と小池さん、西東京の栗林さんと 3 名。賞品として QUO カードをいただきました。

例によって近くの居酒屋で祝勝ビールで乾杯し気分よく市ヶ谷をあとにしました。　　中村 敏明 記

＜野球早慶戦観戦部会＞

好天に恵まれた６月１日(土)、春季リーグの早慶第１回戦を観戦しました。今回の参加者は７名で、私が担当してから最多人数で、大変嬉しく思いました。因みに最小の時は３名。今回、川上・帆角・渡辺・小野・高橋・黒坂の６氏に私。これに私の同級生で大矢事務局長の高校の先輩(白石君といいます)が飛び入り参加で一緒に観戦しました。

内野席に陣取った観戦メンバー

行程はいつもどおりで 10 時半東久留米駅集合、西武線・大江戸線乗り継ぎで国立競技場前駅。各自昼食・飲み物持参で入場料は 1300 円也。

春シーズンは既に明治の優勝が決定していて、早慶戦は２位・３位決定戦。結果は３−２で母校勝利。あまり活発な打ち合いではありませんでしたが、ホームスチールあり、ホームラン２本ありで比較的緊迫感ある試合でした。帆角・小野両氏は夕刻に備えてアルコール自粛。他のメンバーは持参のビール・日本酒・ワインでほろ酔い気分の観戦。高橋会長観戦の不敗神話が続いており、今後も是非参加戴きたいと思います。東久留米へ戻り、「大祝勝会」。今回は多彩な顔ぶれが集まりましたので、野球以外にも　大いに話に花が咲き楽しい一日が過ごせました。今はインターネットテレビで大学野球視聴出来ますが、雰囲気はやはり現場ならではのものがあります。小宮山監督もチーム力をしっかり把握したと思います。秋季リーグ戦は期待できると思いますから多数の方々にご参加戴きたいと存じます。

勝利のスコアボード

私事ながら、春シーズン全カード観戦しました。東大○、明治×、立教○、法政○、慶応○×。(○×は私の観戦の結果)。東大・立教戦はかなり熱烈な野球ファンの黒坂さんと一緒に外野席で観戦しました。６月３日(月)第３戦をまたもや白石君と。前日日曜の勝利に勢いづいた慶応の０−２で完敗。池袋で「残念会」。(呑む口実に神宮へ行っているのではとの陰口が聞こえて参ります)

山口　謙二　記

＜ウォーキング＆山歩き部会＞

『甲州街道を歩く』第 14 回（4 月 15 ＆ 16 日）富士見➡上諏訪➡中山道合流点

【4 月 15 日(月)】

１週間前から小雨の予報で、実施か否か気を揉んでいた中、直前になって晴れの予報に変わり、総勢 10 名(男 5、女 5)は勇み立って、甲州街道の最終地点を目指して東久留米を出立、立川から特急あずさ３号に乗り中央本線富士見駅に降り立った。標高 956mにある駅では、東久留米の春の感触は何処へやら、１桁台の気温に加えて強い風に見舞われ、思わず身をちぢこませた。

初日の行程は茅野駅迄の 15 kmである。旧街道(甲州道中)は、比較的平坦な国道 20 号を縫うように

甲州街道　御射山神戸の一里塚にて

沿って続いている。今に残る小さな集落を通り、畑や田圃、山裾の林を抜けるという様相で、名所旧跡はないが、自動車が多数走る車道脇の狭い歩道を歩くことに比べると多少の上り下りも気にならず、日常の雑踏を逃れて、穏やかな、伸び伸びとした感じを覚えながらの歩きを楽しむことができた。「原の茶屋」を過ぎ、畑中にポツンと在る JR「すずらんの里駅」を遠望しながら「御射山神戸（かんべ）」の一里塚に至り、樹齢 400 年の欅大木の下で休憩。金沢宿跡まで進んで、往時宿場窓口を担った泉長寺の一隅を借りて昼食をとった。「矢ノ口」の権現の森を過ぎて宮川沿いに進むと「寒天の里」の大看板に出会い、この地が寒天の名産地であることを思い出した。中央本線の跨線橋にある「貴船」の石仏石塔群で休憩し、「宮川坂室」を過ぎる辺りでは白雪に覆われた八ヶ岳の眺望に目を奪われている間に、茅野駅は指呼の間にあった。15 ㎞が短く感じられた 1 日であった。

茅野駅から上諏訪迄電車に乗り、今日の宿泊先「諏訪シティホテル成田屋」へ。途中、上諏訪駅にある足湯の気持ち良さに、一同の疲れが癒された。夕食迄の時間を利用し、近くにある、当時の諏訪湖波打ち際に築城された高島城（高島藩諏訪氏の居城）を散策。明治期に破却されたが近年復興され、大手門、天守閣、庭園が昔日の美しい光景を再現していた。

夜は、ホテル近くで、甲州街道最終地点到達を目前に、祝杯を挙げた。

【4 月 16 日（火）】

昨夜から 1 名増の 11 名となった。甲州道中終点（中山道合流点）を目指して、茅野駅迄戻り甲州道中を歩く組と上諏訪周辺を散策してからの 2 つの組に分かれて行動を開始、両者は上諏訪駅から近い銘酒真澄の店で落ち合うことにした。

茅野駅では、駅の真ん前（建物の蔭）に建つ諏訪大社上社大鳥居に至るのに大迂回をしたハプニングを経て、暫く 20 号線の車道脇の狭い歩道を歩き、甲州街道渋沢小路から旧街道（甲州道中）に入る。山裾に沿った、住宅が建つ中を辿る往来の少ない道で、快晴の日差しを浴びて家の合間から茅野市街を見下ろす眺めが素晴らしかった。山の上で行くことは出来なかったが、諏訪総領家の諏訪頼重が信玄に攻められて籠城、降伏した（諏訪氏断絶に繋がる）桑原城址を、歴史の一齣に思いを馳せながら、見上げ、眺めながら歩いた。

上諏訪に入ると酒造蔵が多く並んでおり、その中の一つ銘酒真澄に立ち寄る。以後の歩きに配慮しながら、醸造法、味、香り、飲み方の解説付きで、五種類の利き酒を楽しんだ。他の酒蔵も訪れたい思いを断ち切り、次に向かう。4 月 1 日に幸手で花見を堪能したが、直ぐ傍にある貞松院月仙寺では、市の天然記念物「延命桜」と名付けられた樹齢 400 年の枝垂桜が満開となっており、整えられた庭に花が降り立つ美しさは、極楽とはこんな所かと、真摯な仏教徒ではない身でも、美の極致に感動を覚えていた。

眺むとて花にもいたく馴れぬれば　散る別れこそ悲しかりけれ　西行(山家集)

甲州道中は、山裾の高台を下諏訪に続いている。古事記の国譲りでこの地を統治した際の被征服者を祀った先宮神社で神殿脇に鎮座する市の天然記念物大欅の下で休息。引き続き終点(中山道との合流点)を目指して坂道を登るにつれて、眼下に薄青く広がる諏訪湖を眺めるようになり、暑さと疲れを覚えてきた頃、漸く諏訪大社下社に辿り着いた。折から昼飯時とて、門前の蕎麦屋に入り、地元名物である蕎麦で腹ごしらえをした後、下社を参拝。

甲州道中終点の石碑

終点は近くにあると聞いていたものの、明確には知っていなかったので、歩き回って探したところ、門前から数分の所に終点の石碑とチョットした広場を発見。平成 29 年 10 月から 3 年越しで挑んできた思いとはかけ離れた感が否めない、細やかな雰囲気の場所ではあったが、一同、目的達成を記念して写真に納まった。

東久留米に戻った後の恒例の打ち上げは、昨夜の酒宴と 2 日間の歩きの疲れの為に見送りとした。

ｳｫｰｷﾝｸﾞ番外編「甲州街道（甲州道中）を歩く」を終わっての活動報告

令和元年 5 月 13 日(第 15 回)、最後に残した街道の原点・日本橋から内藤新宿までの都心部を歩き、全 15 回、合計 16 日を要した甲州街道の全道程(約 220 ㎞)踏破を完了。平成 29 年 10 月に内藤新宿を出発して、平成 31 年 4 月に下諏訪の中山道との合流点に到達して以降、最後に残されていた締め括りのｳｫｰｷﾝｸﾞでもあった。日本橋界隈から麹町を経て新宿通りを下ってみると、僅かな時の移ろいの中で、我々世代が通勤してい

街道の起点　日本橋道路元標の前にて

た頃とは様変わりに高層ビルが林立していたのが印象的であった。ｳｫｰｷﾝｸﾞ番外編としての「甲州街道を歩く」は、稲門会の補助金を使わずに、下見無し参加費無し、ガイドブック購入を各自負担とし、行程案内はメールのみという、参加者自助努力をお願いした形で行ってきた。ということもあり、今回ｳｫｰｷﾝｸﾞの完了に際し、参加者に感想文の寄せ書きを募った。（東海俊孝）

以下、参加回数の多い順に記載する。（全行程踏破は、東海、有賀の２名）

【有賀千歳】私は、運よく 16 回全部に参加できた。今は、達成感で一杯である。稲門会に入り、ｳｫｰｷﾝｸﾞの仲間に出会い、最近は一人で山に出かけることも多くなった。スポーツといえば、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙだけやってきた人生だが、今回の甲州街道を歩いた体験は間違いなく人生の大切な思い出になった。幹事の方々、一緒に歩いた仲間達に改めて感謝したい。

【松崎洋子】お江戸日本橋から信州下諏訪へ。故郷が松本ということもあり、今しかないと迷いながらも勇んで参加させていただきました。雨の日、風の日、日照りの中をくたくたになりながらも、下諏訪に着いた時の充実感は何ものにも代えられません。毎回資料等、細かなご案内、ご指導した下さった幹事さん、一緒に歩いた仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

【安次峰暁】最終回の日本橋～内藤新宿を歩き、皇居半蔵門で天皇陛下をお見送りすることができ、感無量でした。私は甲州街道を全区間踏破はなりませんでしたが、曲がりなりに大方は歩くことが出来た事で大変いい経験をさせて頂きました。度重なる、帰りの電車での呑み会は稲門会ならではの想い出です。

【片平るみ】ただただ感謝の念で一杯です。第一回目の甲州街道ｳｫｰｷﾝｸﾞがしんど過ぎて、いつまで続けられるか全く自信がありませんでした。ですが、幹事さんの丁寧な案内メールや、一緒に歩く仲間に勇気づけられ、難所と言われる笹子峠も小仏峠も、楽しく歩ききる事ができました。幹事さん、皆さま、ありがとうございました。

【別処尚志】歩いた！　昔の人はアスリート？　月に１回、10 ㎞～15 ㎞歩いただけなのに、後日足腰に影響が！これを毎日続けた昔の人はなんとすごいアスリートだったのだろう！？

【渡辺真司】甲州道中最難所・笹子峠越え：2018 年 9 月 10 日、中央本線笹子駅下車、前回到達地点笹子峠の登り口までのバスを待つ。見渡せば名物笹子餅を食らって、力を溜める者、足腰をグルグルと回して体をほぐす者、難所踏破への意欲満々。この日は峠入口よりすべて旧道を歩く計画だ。深山の感を肌で確かめながら樹林の枯れ跡、積もった落ち葉を踏みしめながら進む。太陽下は暑いものの樹林の中は涼しい。予想どおりの急勾配、江戸期の足元の悪さ、草鞋ばきを考えれば、往時の旅人の強さを痛感する。旧街道笹子トンネルの真上を超えるルートは、胸と大地が接触しそうな急勾配を這い上る。這い上がるが適切な言葉だった。メンバー一同「よくやるなあー」と自ら感心。息も絶え絶え登りきる。峠を越えての下りもすごい。直前の台風によりなぎ倒された木々、流された土砂、道は無い。途切れる道を探し探し、急斜面を一気に駆け下りた。流石街道一の難所だった。登りも下りも本当に大変だった。

【小野泰右】最初は不安でいっぱいだったが、歩けなければ途中でやめれば良いと思い挑戦し、貴重な体験ができた事、幹事さん始め参加した皆さんに大感謝しています。特に日野春からの行程は、左に甲斐駒ヶ岳、右手前方に八ヶ岳と、素晴らしい景観に言葉を失う時間を持つ事ができ、一生の思い出となりました。

国会議事堂前にて

【坂井淑晃】完遂おめでとうございます。全行程踏破のスーパーマンにも脱帽です。ひきかえ、距離が短く、寒くも遠くもない回など、気ままな参加を許容いただきました。街道を歩く趣旨からは外れたかもしれませんが、お陰様でそれなりに楽しませていただきました。ありがとうございます。
【浅輪田美】思いがけず同道を許されて、三年越しの「甲州街道を歩く」を終えることができました。途中、暑い時期や峠越え等、数回回避してしまいましたが、出発点日本橋と中山道との合流点はしっかり踏みしめました。国道 20 号の整備が遅かったせいか、参勤交代での行き来が三藩しか無かったせいか、史跡が比較的少ないと感じました。韮崎を過ぎた辺りから現れた七里岩には自然の威力に圧倒されました。和やかな皆様のお蔭で愉しく歩くことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。
【山岡恭子】初回と最終回は病欠、途中ジャカルタ移住、帯状疱疹等欠席多く虫食い状態での参加でした。が、下諏訪で甲州街道と中山道の合流地点に達した時の喜びはひとしおで、その光景は一生忘れられそうにありません。主催者のリーダーシップと熱意、参加者皆様の体力と根性に感服したり舌を巻きつつ、お世話になった事をここに深く感謝申し上げます。
【渡辺昌子】ｳｫｰｷﾝｸﾞとお酒と会話のお好きなメンバーで、「甲州街道を制覇」を目標にする方々の仲間に入れて頂き、やっとこさ歩き終わる回も沢山ありました。その中でも、猿橋の複雑な造り、笹子トンネルの上の笹子峠越え等、行きたいと思いつつ、一人では行けなかった数々に、企画して下さった皆様、それに、いつも殿(しんがり) で見届けて下さった幹事さま本当に有り難うございました。
【神田千鶴子】ゴールお疲れ様でした。私は恥ずかしながら半分にも届かずリタイアしてしまいました。幹事の方の事前調査、細かいメール連絡など、色々ご配慮がなかったらスムーズに歩く事が出来なかったと思います。本当に有難うございました。
【東海俊孝】終わりに当たり、5 月 27 日、松崎邸にて、参加者一同が集い、稲門会のレジェンドとなっている蕎麦の振る舞いに舌鼓みを打ちながら、長かった甲州街道ｳｫｰｷﾝｸﾞを振り返る話の花を咲かせる機会を得ることができましたことに、心より感謝申し上げます。

72 回ウオーキング(R1.6.17)　早大所沢キャンパスツアー、狭山湖、北山公園の活動報告

梅雨の季節なのに心地よい風が吹く好天に恵まれ、総勢 16 名(男 12、女 4)で小手指からバスに乗り早大所沢キャンバスに向かい、先ずキャンバスツアーを行った。その後残った人たちで狭山丘陵をウォーキング。狭山湖(山口貯水池)堰堤、多摩湖(村山貯水池)湖畔、八国山緑地を経て、最終地北山公園で、今盛りの菖蒲と紫陽花の鑑賞を堪能した。

所沢キャンパスは、1987(S62)年４月早稲田大学創立 100 周年事業の一環として開設、人間科学部が設置され、2003(H15)年スポーツ科学部が設置された。早稲田大学では本庄キャンパスについで 2 番目に広く(365668 ㎡)、南隣には狭山丘陵が広がる自然に近接した立地にある。大きな 2 つの校舎と学生共同利用棟の他、スポーツホール、広いソフトボール場、織田幹雄記念陸上競技場、アクアアリーナ等の一級の体育施設と保健センターが、広大な緑豊かな敷地に点在している。我々は、大学院 1 年生のアスリート然とした学生に案内されてこれら施設を巡り、往年に通っていた高田馬場のキャンパスとは異次元の環境でのキャンパスライフの素晴らしさを容易に想像、認識することが出来た。ツアーは、校内にある綺麗なゆったりとした学生食堂で、安価で美味しく、選択肢の多い昼食を楽しんで終わったが、自然と昔日の学生食堂での食事が想い出され、懐かしさと現在との落差が、目の前で巡り巡っていた。

ツアーのみ参加の数人が抜けたあと、キャンパス南門から出て、狭山湖縁辺に沿って約 2 ㎞を歩き、ダム(堰堤)に至った。青く広がる湖面越しに奥多摩、秩父の山々が望まれ、反対側には遠くスカイツリーを見通すことができ、広大な天地の眺望を堪能した。狭山湖を過ぎ、西武球場駅から帰宅する方々が抜けて、残り 8 名がここから約 7 ㎞、北山公園を目指して長丁場のウオーキングを開始。多摩湖に沿った木陰の自転車道路を、木立を透いて見える多摩湖面と反対側の西武園ゴルフ場を見やりながら進み、西武遊園地駅を過ぎ、西武園駅の先で狭山丘陵東端にある八国山緑地に入った時には 6 名となっていた。園内全体がコナラ、クヌギ等の雑木林になっている気持ちの良い新緑の中を暫く歩み、少し坂を下

所沢キャンパス入口にて

って隣接する北山公園に漸く辿り着いた。

北山公園の菖蒲苑は、新東京百景に選ばれるほどの名所で、300 種 8000 株の花菖蒲がその盛りを誇っていた。昨年 6 月に水元公園を訪れて菖蒲の鑑賞をしたが、北山公園は多少規模は小さいが、様々の種の花が妍を競うように咲く様は菖蒲の名所に相応しいものと思われた。しかし、眼前に展開する様(さま)に、詩歌のような表現で迫ることは足下にも及び得ず、詩才を欠いた自分に悔が残った。ただただ、「素晴らしい」の一言。花菖蒲の鑑賞に耽っていた中で、公園の縁辺に紫陽花が負けじと咲いているのに気が付いた人がいた。青や赤の花に交じって、小粒の真っ白い花を盛り上げて懸命に咲いていた「アナベルアジサイ」が印象に残った。

北山公園にて

疲れた足に鞭打って東村山駅迄 1 ㎞弱を歩き、所沢で最後に残った 4 人で打ち上げをした。

東海 俊孝 記

＜俳句部会＞

第 226 回　5 月 19 日(日)

兼題：古茶　葉桜　　席題：改元に関すること

＜高点句＞

足るを知る日々の暮らしや古茶うまし	杉本達夫
思い出は昭和に多し蝉しぐれ	大久保泰司
古茶淹れて今日ありしこと語る妻	三浦洋子
改元を三つくぐりて若葉風	馬場清彦

＜自選一句＞

あご紐を解ひて峠の茶屋の古茶	比護喜一郎
改元を寿ぐ如く若葉萌ゆ	川俣信子
帝にもありし遠流や令和くる	片平るみ
葉桜や中山道の一里塚	神田尚計
葉桜の訓子府より誘ひ文	川島知子
女仲いつしかかれる古茶の味	安宅武一
留守居して徒然にただ古茶を汲む	橘優治

第 227 回　6 月 16 日(日)

兼題：杜若　雨蛙　　席題：椅子

＜高点句＞

梅雨晴れやリュックひしめく長ベンチ	比護喜一郎
手のひらの冷たき命雨蛙	杉本達夫
雨蛙そういえば雨降っている	川俣信子
太鼓橋かかる狭庭の杜若	片平るみ
小さき手に握りしめたる雨蛙	川島知子

＜自選一句＞

声明の声の弾みや杜若	大久保泰司
放課後の椅子の匂いや夏が来た	神田尚計
音なしの雨ふる一日杜若	橘優治
船頭は金髪碧眼かきつばた	三浦洋子
古溝や只一輪の杜若	安宅武一
公家の裔友の家紋や杜若	馬場清彦

片平 るみ 記

＜バドミントン部会＞　バドミントン部会活動報告　6 月 9 日(日)～10 日(月)八ヶ岳合宿

64～80 歳の 14 名が参加して、初めての一泊合宿を挙行しました。当バドミントン部に参加するまでは全員がド素人、前部会長で創始者の渡辺さんと数人以外は、運動部の経験すらございません。創部 3 年(当初は 6～7 人で始まった「いろいろスポーツ部会」)のリタイア集団ながら、健康に遊びたい気力だけは抜群です。

バドミントン部会合宿　グリーンヒル八ヶ岳のアリーナにて

合宿先は、新宿区立区民健康村のグリーンヒル八ヶ岳。広大な敷地にアリーナやサッカー場、ホテルなどの諸施設を備えていて、コスパはさすがです。部会員さんのご紹介で実現できました。現地までの足は、新宿バスタから 2 時間 20 分の高速バス。予約しておいた昼食を済ませ、準備体操のあと、初日に予定していた総当りペア戦の 21 試合(貸切のコート 3 面を使用)に入りました。7 ペアのうちどのペアが優勝しても不思議ではない、うまい組合せになっていたはずですが、水色シャツのアリマツ組が 5 勝 1 敗で優勝、写真前列の一人を置いて黒･赤シャツのヤマクニ組が 4 勝 2 敗の準優勝、シャツの色だけ頑張った後列左端のオヤサカ組が 1 勝 5 敗でビリ、という結果になりました。実力と言うよりは、たぶん心掛けの差が出たのでしょう。

温泉で汗を流し、ホテルの和食会席を楽しんだあとは、宴会部長さんが用意してくださったカラオケ宴会です。ここでの優勝は「おふくろさん」でしたが、もちろん賞品はございません。

翌朝はバイキング形式の健康朝食をいただいたのち、今度はチーム戦です。前日のペアを分離して A チームと B チームを作り、それぞれのチーム内でペアを組んでの団体戦を 14 試合、両チームとも盛大な応援を背に精いっぱい戦いましたので、この日は時間切れ 7 対 7 の引分けとなりました。合宿らしい練習も少しはできるかなと予想していましたが、全くの外れ、それでまあ良かったと思います。

無事、新宿バスタに帰着！

昼食を終え、小雨の中を走る帰京バスの中では、残った飲み物とおつまみで最後の宴会です。一般のお客様に迷惑をかけることもなく、みんな笑顔で合宿を完遂することができました。新宿バスタでの満足写真をどうぞ。(お願いした撮影者が、お嬢様だったお陰かも知れません。)

坂井 淑晃 記

30回目の早慶コンペに集合した面々

夜来香での表彰式

＜ゴルフ部会＞

第30回　三田会合同コンペ

6月14日(金)飯能グリーンＣＣにて三田会との30回目の合同コンペが稲門会11人、三田会9人の参加で開催されました。時節柄、雨の心配がありましたが梅雨の谷間で素晴らしい天気に恵まれ、暑くもなく涼しくもない絶好のコンディションで楽しくラウンドできました。個人戦の優勝は三田会の佐武さんで初優勝とのことでした。プロ並みのパットで27パットは素晴らしいです。稲門会は上原さんがベスグロでしたが僅差の2位、村野さんが3位と健闘しましたが他のメンバーが揮わず上位6人で競う団体戦は三田会の勝利でした。これで対戦成績は15勝15敗と並びました。

30回を記念して東久留米に戻り、中華料理屋「夜来香」にて表彰式、懇親会を行いました。

金子 孝司 記

部会だより

＜書道部会＞　「暑気払い」

7月14日(日)の例会は当部恒例の「暑気払い」です。
市役所向かいのスペース105で13時～16時ころまで行います。皆さんお立ち寄りください。暑さを和らげ、冷たい飲み物・食べ物を頂きながら、しばらくの書談義・・・よいと思いますよ。
過去の思い出の作品、取り組み中の作品をそれぞれ2～3点ずつ持ち寄り、作品選択の経緯、作品への思い入れ、苦心したところ等々披露した後、先生はじめ参加の皆さんからのアドバイスをいただき、次作品への糧とさせていただきます。

私のウオームアップ法：目を閉じ、ゆったりとした呼吸を繰り返す。心を落ち着け、気持ちを平らかにし、おもむろに空に向かって右の手で円を描く。数回まわしたら、横の線、縦の線、止めや払いも空手で描いてみる。さあーこれからスタートです。

また本年は10月25日（金）～27日（日）の3日間・成美教育文化会館にて、第10回目の作品展を開催いたします。部会員一同悪戦苦闘して作品作りに精を出しています。お待ちしております。

渡辺 真司 記

＜カラオケ部会＞

７月 30 日（火）　18：30　「カラオケを楽しむ会」

1. と　き：７月 30 日（火）18：30
2. ところ：オンチッチ
3. かいひ：4,000 円
4. 連絡先：髙栁康夫　TEL：:473-3559
   携帯：090－8741－8424
   E-mail:y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

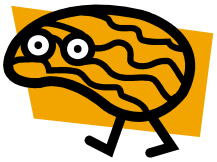
今年は、５月下旬ごろから真夏日が多く、以後猛暑日が続き、温暖化現象に見舞われたかと思えば、梅雨入りしてから、曇天・降雨の中、梅雨寒により、将にお天道様に翻弄されています。特に、小生のような高齢者にとっては、自然現象によるストレスが募り、その影響は少なからざるものがあります。このようなときには、いろいろ解消する方法がありますが、その一つとして、気心の知れた楽しい仲間と一緒に、お腹の底から大きい声を出せば、自ずと蓄積された重い荷物を追い払うことができるのではないかと思っています。その意味で、ご都合のつく方は、是非東久留米駅北口までお運びいただきますようお願いします。　髙栁 康夫 記

＜ウォーキング＆山歩き部会＞　（第 74 回）羽村堰から玉川上水を歩く

日時：９月９日(月)９時前後に東久留米駅集合

◎内容決まり次第メール・ホームページで案内します。

☆臨時開催：清瀬「ひまわりフェスティバル」に
行くことを検討中。８月 19 日(月)が候補日。



東海 俊孝 記

＜映画鑑賞会＞　第 65 回　　９月 26 日(木)14 時～　　於：成美教育文化会館

「冒険者たち」Ｌｅｓ　Ａｖｅｎｔｕｒｉｅｒｓ　(1967 年　仏 112 分)

監督：ロベール・アンリコ、出演：アラン・ドロン、リノ・ヴァンチュラ、ジョアンナ・シムカス、
音楽：フランソワ・ド・ルーベ

冒険と、性別・年代を越えた熱い友情と信頼、そして海などバラエティに富んだ舞台が印象的な作品。『明日に向かって撃て 1969』、『無宿 1974』等に後々まで影響を与えた。曲芸パイロットのアラン・ドロン、レーシングカー開発に熱中するリノ・ヴァンチュラ、新進芸術家のジョアンナ・シムカス。

演技、風景・音楽が見事にマッチして内容も小粋である。女と男二人の出逢い、それぞれの挫折、海での宝探し、女性の牧歌的で貧しい故郷、終盤廃墟の要塞での銃撃戦と起承転結もしっかりしており、フランス映画特有の芸術性の高さが感じられ、楽しめると同時に、深い感動を味わえる映画の金字塔である。　映画鑑賞会 記

東稲広報室

＜新部会長＞

女性サークル部会長・・三浦洋子さん、　バドミントン部会長・・坂井淑晃さん
どうぞよろしくお願いいたします。

＜訃報＞

■加賀谷久司さんが、昨年度逝去されたことが判明しましたのでお知らせいたします。心よりご冥福をお祈りいたします。

■藍原昌義さんが、6 月 27 日に逝去されました。享年 77 歳。葬儀は 7 月 1 日に家族葬で、「お別れの会」が 7 月 6 日に執り行われました。当会からは、規定により香典をお供えいたしました。

当会ラグビー観戦部会長である藍原さんの、突然の訃報に言葉もありません。学生スポーツ、特に早稲田ラグビー部をこよなく愛し、毎日のように上井草に足を運んで練習を見学し、部員たちを励ましていました。どんなに遠くとも試合には現地に赴いて観戦し応援していました。ポケットマネーで練習見学用のベンチを購入し、当会名で上井草グランドに寄付もなさいました。

東稲ニュース№100(2019 年 5 月 10 日号)には、巻末の会員リレーエッセイに「OXFORD」と題して、ラグビー部の英国遠征に随行した「観戦記」を寄稿してくださいました。

ラグビーワールドカップが日本で行われる今年、早稲田ラグビー部も大学日本一奪還目指して頑張ると思います。天国からの応援、お願いいたします。どうか安らかにお眠りください。

※突然の訃報のため、同封の名簿には「会員・ラグビー観戦部会長」としてそのまま記載されています

＜稲門祭記念グッズ抽選番号一覧＞

ご注文ありがとうございました。ご購入 2,000 円につき 1 枚抽選券が付きます。ご購入者をあいうえお順に抽選番号を割り振りいたしました。

青柳成彦(5731)、安次峰暁(5732)、鮎貝盛和(5733. 5734. 5735)、有賀千歳(5737. 5738)、池田信一(5739)井坂宏(5740)、伊藤毅(7411. 7412. 7413)、栄田征子(7414)、大野＜三田会＞(7415)、大矢真弘(7416. 7417. 7418. 7419)、大島勝典(7420)、小野泰右(7421. 7422. 7423)、小山田朋樹(7424. 7425)、梶井琢太(7426)、片平るみ(7427)、金子孝司(7428. 7429. 7430. 7431. 7432)、河村洋子(7433)、酒井正敬(7434. 7435)、笹井瞭三(7436, 7437, 7438)、佐々木洋一(7439. 7440. 7441. 7442)、佐藤一郎(7443)、清水正弘(7444. 7445, 7446)、高橋哲男(7447. 7448. 7449. 7450)、橘優治(11342. 11343. 11344. 11345. 11346)、塚越崇(11347)、東海俊孝(11348. 11349)、中村敏明(11350. 11351. 11352. 11353)、長束輝夫(11354. 11355)、長谷山勝美(11356. 11357)、平山正徑(11358. 11359. 11360)船津高志(11361. 11362)、別処尚志(11363)、帆角信美(11364)、前川初子(11365)、松崎博(11366. 11367. 11368)、三浦洋子(11369)、武藤豊(11370)、村野建彦(11411. 11412. 11413. 11414)、山口謙二(11415. 11416. 11417)、山岡恭子(11418)、横田慧子(11419)、吉川明美(11420)、吉田清朗(11421. 11422)、渡辺真司(11423. 11424. 11425)

稲門祭は 10 月 20 日(日)が当日です。あのアリーナも遂に完成!! 現役学生と OG、OB の協力で稲門祭は成り立っています。ぜひご来校を、お待ちしています。 中村 敏明 記

＜2019 年度ポストマン区割＞

本年度のポストマン区割りは以下の通りです。よろしくお願いいたします。(事務局)

上の原 1･2 丁目、金山町 1･2 丁目：塚越、神宝町 1･2 丁目：清水、氷川台 1･2 丁目：渡辺、大門町 1･2 丁目、新川町 1･2 丁目：小野、浅間町 1･2 丁目：山口、浅間町 3 丁目：吉田、学園町 1･2 丁目、ひばりが丘団地：中村、ひばりが丘団地(校友時のみ)：吉川、南沢 1･2 丁目：別所、南沢 3･4 丁目：小山田、南沢 5 丁目：片平、南町 1･2･3･4 丁目：後藤、前沢 1･2･3 丁目：河村、前沢 4･5 丁目：横田、滝山 1･2･3 丁目：村野、滝山 4･5 丁目：前川、滝山 6･7 丁目：西村、柳窪 1･2･3･4･5 丁目、下里 3･4 丁目：船津、野火止 1･2･3 丁目、下里 1･2･5･6･7 丁目：金子、幸町 1･2･3･4･5 丁目：東海、八幡町 1･2･3 丁目：坂井、小山 1･2･3･4･5 丁目：安次峰、本町 1･2 丁目：有賀、本町 3･4 丁目、東本町：大矢、東本町(校友時のみ)：呉、中央町 1･2･3･4･5･6 丁目：高橋、弥生・市外(郵送)：大矢、(敬称略)

＜会員リレーエッセイ＞　*～噴水広場～*

寿　命

41 年教育　河村 洋子

新元号が決まる日、私たちのグループは、埼玉の幸手の権現堂堤でお花見の宴を開いていた。スマホで情報を得た人が「令和だよ」と大声で叫んだ。

その夜のテレビニュースで世界最高齢の田中力子さんがインタビューを受けていた。大正、昭和、平成そして令和へと生き続ける彼女に新元号についてどう思うかと尋ねたが、彼女は「わからない」と答えていたのが印象的であった。1903 年生まれの 116 歳だとのこと。

人間の寿命を知ることができたらどんなに良いだろう。いや、そう思わない人もいるかもしれない。寿命が神様のご計画だとしたらかなり不公平である。新生児の時に亡くなる人、田中さんのように百歳以上生きる人。百年以上の寿命の差である。長生きが幸せの尺度とは考えられない。

母は 64 歳、父は 74 歳、夫は 52 歳で逝った。父は平均、母は少し早過ぎ、夫はかなり早く逝ったと思っている。

昔から私はそんなに長く生きたいとは思わないほうである。それが何と 75 年も生きてしまった。今は百歳迄生きたらどうしようと不安に駆られている。そんな時には多分ほとんどの友も亡くなり子供たちも逝っているかもしれない。自分一人だけ生き残っても楽しい生活は送れないだろうと。この気持ちを友人に話すとそういう人こそ百まで生きるよと言われる。

元文相の有馬先生は、120 歳迄生きねばとおっしゃっている。その理由が先生が 120 歳になられる時が 2050 年。その年がどのようになっているかを見届けたいそうだ。その気力には圧倒される。

最近、40 代の医者の方が書かれた本を読んだ。その中に 90 歳に近い人でも手術をしたら半年だけ命が延びるとわかるとそれを実行する人もいるという。その半年間の命のために健保からかなり高額のお金が支払われる。若い人なら半年のために高額なお金を使っても良いだろうが。

昨年、105 歳で浄土へ旅立った姑のことに触れてみたい。彼女は二男の私の夫を 84 歳、長男を 93 歳の時に失った。さすがに長男の時は、私も一緒に焼いて欲しいと号泣していた。しばらくすると立ち直り今迄通り一人暮らしを続けた気丈な人であった。

姑は 99 歳と 6 カ月の時に脳梗塞で倒れ半身不随、食べられなくなり言葉も失った。この年齢で逝っても普通は大往生と言う。100 歳まで生きたいと言っていた本人の希望で、義姉がリハビリの病院に入院させた。そんなに頑張ってもその年齢でリハビリでの回復は不可能であろう。100 歳はすぐに越えそれから 5 年間病院のベッドの上で生きたのである。点滴と鼻腔栄養だけで。とてつもない生命力だった。姑の様にベッドで生かされているのはあわれである。私が娘だったらチューブをはずすように頼んだであろう。

今盛んに言われている健康寿命。一人で何でもでき、口で食べることができれば長生きの甲斐もある。数年前にひっそりと「リビングウィル」を書いた。無駄な延命治療をしない様にと。

今日(4 月 9 日)読売の夕刊を捲っていると「人にはなぜ長い老後？」という記事に出会った。生物学者の福岡伸一氏と読売の記者との対話。動物界で人以外のほとんどの生き物は、生殖期間を終えると寿命を終える。なぜ人間は子供が生まれてから長生きするのかというと、ホモサピエンスという種を温存する上で有利だったとのこと。子世代の育児を手伝うために長い老後が用意されているという見方もあるそうだ。このようなことは初めて知った。何と面白い説なのだろう。

あと何年生きられるかは、神様のみご存じである。誰もが思うように最後迄人にあまり迷惑をかけず、好奇心を持ち続けて幕を閉じられたら最高である。 2019.4

＜編集後記＞

令和の時代が始まり、今号より東稲ニュースの編集をチームで行うこととなりました。まだまだ右も左も分からない状態ですが、一日でも早く独り立ちできるよう、精進いたします。皆様からの投稿もお待ちしております。{片平るみ}

編集委員：有賀千歳　小山田朋樹　片平るみ　前川初子